

## 特 記 仕 様 書

- (1) 入札前に必ず、現場・仕様書・図面を精査し、施工方法等、異議・質問等があれば申し立てること。
- (2) 契約後、契約図面と起工測量との差異がある場合を除き、事後異議を申し立てないこと。
- (3) 工事実施前に起工測量を実施し、監督員と必ず数量等を報告し施工すること。
- (4) 数量変更については、監督員と十分協議すること。
- (5) 受注者は、契約当初に工期延長が必要となる場合は、実施工程表（任意様式）を提出し、監督員と協議のうえ、契約書第 21 条の規定による工期の延期変更を請求することができる。
- (6) 通行止め等の交通規制・施工時期・施工方法については、監督員、関係機関と十分協議をすること。
- (7) 土砂等運搬車両には、必ず工事名・業者名を掲げること。
- (8) 施工中の道路施設等の破損については、請負業者の責任において修復するものとする。
- (9) 環境に配慮し、工事車両等のアイドリングストップの推進。
- (10) 工事現場等の環境美化の徹底。（部分下請け業者にも徹底する。）
- (11) 特記なき事項については、三重県公共工事共通仕様書によること。
- (12) 本工事において、下請け契約を締結する場合には、当該契約の相手方を大台町内に本店を有する者の中から選定するよう努めること。
- (13) 受注者は暴力団員等による不当介入を受けた場合は断固としてこれを受け入れず、不当介入があった時点で速やかに警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。
- (14) 前項により警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。  
発注者への報告は必ず文書で行うこと。
- (15) 受注者は暴力団等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。